
学生にHACCPを教える。その反応

所属 国立大学法人 帯広畜産大学産学連携センター

氏名 特任教授 渡辺信吾

本学では2015年に大学院畜産学研究科修士課程・博士前期課程（2018年改組 畜産科学専攻博士前期課程）4専攻の大学院生を対象に「HACCPシステム構築演習」を試行的に実施して16名が受講した。更に16名の中から12名が「HACCPシステム構築特訓コース」に参加し、大学院生に対するHACCPシステム構築教育プログラムの策定に関わってくれた。その結果、2016年より課程の選択科目に「HACCPシステム構築演習」と「食品関連法規と食品製造・加工施設保全特論」を設けた。

「HACCPシステム構築演習」は3年間で39名が受講し、試行時の受講生と合わせると55名のいわゆる「HACCPシステムについて相当程度の知識を持つと認められる者：平成9年2月3日 厚生労働省通達（衛食第三一号・衛乳第三六号）」を輩出した。

このプログラムは集中講義形式で4日間実施され、国内で開催されている食品企業従業員向けの「HACCP構築の3日間研修」と同等の知識・技能を修得する内容となっている。

特記すべきことは、監督行政機関や食品製造企業で豊富な現場経験を有する講師陣が「真に事故防止に効果のあるHACCPシステムを如何に構築して維持するか？」という観点から実際の事故事例に基づいて作成した資料を用いて、座学と演習により教育・訓練されているところにある。

当初は「HACCP構築演習」の内容が極めて実務的なため、製造現場での就労経験の無い大学院生に理解できるか不安であったが、講義を行ってみるとその不安は払拭された。

更に、一部の大学院生に至っては「装置産業型HACCPシステム構築」に不可欠な配管図面を解読する等の高度な技能を習得できた事例もあった。また、他の大学院生に於いても社会人に決して劣らぬ理解力を示した。このプログラムの概要と大学院生の理解力・感想について紹介する。

【講演者の紹介】

昭和31年 斜里郡斜里町本町で生まれる

昭和52年 旧国立釧路工業高等専門学校電気工学科卒業後、よつ葉乳業株式会社に入社、十勝主管工場に配属
以後乳製品製造部門、品質検査部門、品質保証部門、食品安全内部監査部門、社内コンサルを経験

平成26年 よつ葉乳業株式会社を退職し、国立大学法人帯広畜産大学地域連携推進センター 食品安全マネジメントシステム推進室長特任教授となり地域企業のF SMS導入コンサルティングと人材育成を行う